

千赤赤第 66 号
令和 7 年 9 月 5 日

千早赤阪村立赤阪小学校
校長 近藤 和浩

学校評議員運用に関する報告書（1 学期）

月 日	意見を求めた事項	評議員氏名 (敬称略)	意 見 の 概 要	処 理
7 月 4 日に 提言シート の提出を依 頼。 締め切りは 8 月 31 日 2 名の評議 員から提言 シートの提 出があっ た。	①令和7年度学校 教育目標等につい て	評議員	「ねばり強く取り組む学習習慣 の定着と言語能力の育成」とい う目標は、「社会を生き抜く確か な学力」を育成することにつな がる。学習指導要領に通じる視 点は大切。 小規模校の個に応じた丁寧な 指導でのびのびと学力を伸ば す取り組みを進めてください。	SE推進事業で全 学年が取り組んで いることに自信をも って進めていきたい と思う。 小規模校ならではの 指導を進めてい きたい。
	②放課後校庭開 放について	評議員 評議員	遊び場の少ない校区での「公 園」としての校庭開放があって もいいし、屋内でゲームをする 風潮の今は運動場で遊ぶ経験 は価値があると思います。教育 委員会の事業として「村校庭開 放公園化事業」のような仕組み があってもいいのではないかと 思います。 子どもたちが遊べるような広場 が遠いのでとても良い案だと思 います。通学している児童の兄 弟等は利用できるのしょう か。	遊び場として放課 後の運動場を使え るようにすることと、 教職員の負担を増 やさないようにする ことの両立を検討し ながら、子どもたち が屋外で元気に遊 べるように計画を進 めていく。

	③地域に開かれた学校について	評議員	千台小の「学校地域支援本部」赤小の「はぐくみボランティア」は、工夫された取り組みだと思います。民生児童委員や老人クラブ、PTA等々、村には様々な既存組織がありますので、それらを上手くつなぐようなことができたらいいのになあと思います。	はぐくみボランティアさんを継続しながら、さらに地域に開かれた学校を目指す。また、来年度のCS化に向けて教職員向けの研修等を行っていく。
	④その他	評議員	外国語の授業でALT不在時になかなか話せないと聞きました。昔英語で朝の会をしていたこと等地道な活動に効果があったと感じます。 働き方改革では、方針や目指す子ども像を決めて、それを意識することがカリキュラムマネジメントの1丁目1番地だと思います。 学校だよりの先生方の紹介は親しみをこめて理解できたので良かったです。	昔と同じように、あらゆる活動で英語を話すことは難しいが、英語力を持続していけるように取り組みをすすめる。 教育方針や目指す子ども像を意識するように教職員周知をはかる。 学校だよりの教職員紹介を次年度も続けていく。

1. 評議員氏名欄には意見を求めた評議員の氏名、または会議の場合は会議と記入する。
2. 意見の概要の欄には、会議の場合、最初に(評議員名)を記入し、その後に意見の概要を記入する。
3. 処理欄には、意見を求めた後の処理(職員会議へ報告、文書で職員へ周知等)を記入する。